



おくたま 町議会だより

第179号

平成28年11月5日発行



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

常 任 委 員 会 視 察 研 修



海沢地区の展示会場テラスにて

総務文教常任委員会
平成28年10月15日(土)
おくてん展示会場9会場の視察研修を行いました。多くの芸術家の皆さんが町外からこの奥多摩に住居を構え、活き活きと生活されている姿が印象的でした。空家バンクを利用されて入居された方もおられ、今後、空家の持ち主に理解・協力を仰ぎ、若者住宅とともに、奥多摩の古民家も「定住化」の柱となることを願う視察でもありました。



奥多摩・昭島市民の森にて

経済厚生常任委員会
平成28年10月17日(月)
水源環境や環境意識向上を目的として整備された「奥多摩・昭島市民の森」他と、観光に資する森林資源整備事業を実施した「むかし道」及び照明設備等が改修された日原鍾乳洞内を視察しました。今回の視察を通し、森林を持つ奥多摩町の重要性を再確認するとともに、森林保護と水源涵養に深いご理解を示される関係者のご努力に感謝申し上げます。

第3回定例町議会

第3回定例会は、9月6日から9月16日までの、会期11日間にわたり開催されました。

平成27年度の各会計決算は、本会議初日に提案され、延べ5日間にわたり行われた決算審査について、滝島勇一代表監査委員による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く10名で構成する決算特別委員会に審査が付託されました。

9月13日、14日の2日間におたり開会された決算特別委員会で、内容説明、質疑等が行われ、16日の本会議で採決の結果、次の全8会計決算とも全議員の賛成により認定されました。

○認定第1号

一般会計

○認定第2号

都民の森管理運営事業特別会計

○認定第3号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○認定第4号

国民健康保険特別会計

○認定第5号

後期高齢者医療特別会計

○認定第6号

介護保険特別会計

○認定第7号

下水道事業特別会計

○認定第8号

国民健康保険病院事業会計

決算審査報告（監査委員）

平成27年度の奥多摩町における全8会計の決算書類は、関係法令に準じて作成されており、関係帳簿及び会計伝票並びに証票類とも照合の結果、決算の計数に誤りはなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況及び予算の執行も、適正かつ正確であり、歳入、歳出とも妥当であったことを認める。

《平成27年度、奥多摩町における健全化判断比率算定書類及び資金不足比率算定書類に関する

る審査の結果》

算定基礎事項を記載した書類と総括表とを照合の結果、計数等は、すべて正しく、適正に書類が作成されていた。実質公債費比率は、前年度を下回り、抑制することができたが、今後も継続して、負担適正化に努める必要がある。また、将来負担比率も、新規借入の抑制、基金の積み増し等により、対前年比1.6%の下落を見たが、今後、下水道事業の将来負担を考えると、引き続き、堅実な財政運営がなされる必要がある。

決算特別委員会質疑

○一般会計

- ・ 町税不納欠損の内容と今後
- ・ 公営住宅使用料未収の内容
- ・ 受託事業収入が補正予算で減の理由

- ・ 実費徴収金収入未済の内容
- ・ ふるさと納税の内容と傾向
- ・ ふるさと納税で地場産のPR

ができる返礼品は

- ・ オータムジャンボ宝くじ収益配分金の配分方法
- ・ 議会だよりのカラー印刷化
- ・ 元気なまちづくり推進事業の今後

- ・ 庁用車の購入・リースの状況
- ・ 多摩島しよPR番組の効果
- ・ 総合戦略策定業務委託の成果
- ・ 防犯灯電気料の削減は
- ・ 選挙費削減の余地は
- ・ 空家調査活用委託の内容
- ・ 空家調査活用に伴う個人情報管理
- ・ 社会福祉費不用額の内容
- ・ 各種検診の受診率
- ・ 保健推進活動の今後
- ・ 木質バイオマス推進事業の内容

容

- ・ チップポイラーの稼働状況
- ・ ワサビ苗の栽培状況
- ・ 簡易水道都営化の見込み
- ・ 狩猟免許取得補助の内容
- ・ 松くい虫駆除対策の効果
- ・ 簡易水道施設の維持管理
- ・ いら畑放牧地借地料の内容
- ・ 観光用公衆トイレの整備計画
- ・ 氷川キャンプ場排水設備工事

の内容

- ・ ハザードマップの更新頻度
- ・ 文化財保護費の内容
- ・ 不用額の取り扱い
- ・ 決算に対する評価
- 都民の森管理運営事業特別会計
- ・ 森の家使用料の傾向
- 山のふるさと村管理運営事業特別会計
- ・ クラフトセンター委託料と補助金の違い
- 国民健康保険特別会計
- ・ 低所得者に対する支援策
- 下水道事業特別会計
- ・ 青梅処理区負担金の内容

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり承認、可決、同意されました。

専決処分

○議案第60号

平成28年度一般会計補正予算
(第3号)

条 例

平成27年度決算における奥多
摩町資金不足比率

○報告第4号

奥多摩町教育委員会の権限に
属する事務の管理及び執行状
況の点検及び評価(27年度分)

○議案第61号
学校教育施設整備基金条例

訴えの提起

○議案第62号
町税賦課徴収条例等の一部を
改正する条例

○議案第66号

訴えの提起について
(99か年地上権抹消登記)

○議案第63号
いなか暮らし支援住宅等活用
条例の一部を改正する条例

平成28年度補正予算

人 事

○議案第64号
防災備蓄倉庫設置条例の一部
を改正する条例

○議案第67号

○議案第75号
教育委員会教育長の任命の同
意

○議案第65号
スポーツ・コミュニティ施設
条例の一部を改正する条例

一般会計(第4号)
○議案第68号
都民の森管理運営事業特別会
計(第1号)

教育委員会教育長 栃元誠氏の
任期満了に伴い、次の方を任命
することに同意しました。

報 告

○議案第69号

山のふるさと村管理運営事業
特別会計(第1号)

・若菜伸一氏(新任)
(青梅市御岳本町242番地の5)

○報告第1号
継続費の精算報告

○議案第70号
国民健康保険特別会計(第1
号)

○議案第76号
教育委員会委員の任命の同意
教育委員会委員 木村光恵氏の
任期満了に伴い、次の方を任命
することに同意しました。

○報告第2号
平成27年度決算における奥多
摩町健全化判断比率

○議案第71号

後期高齢者医療特別会計(第

・大澤美和子氏(新任)
(白丸82番地)

○報告第3号

陳情の審査結果

陳情第3号 奥多摩町における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情 — 不採択 —

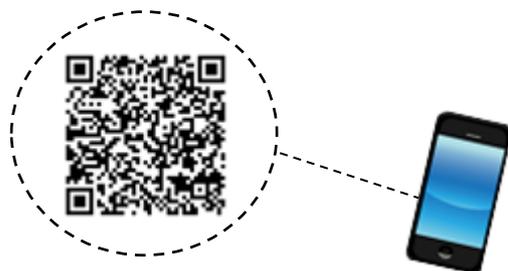
陳情第4号 奥多摩町における受動喫煙防止に関する陳情 — 不採択 —

【陳情要旨】受動喫煙防止に関して、条例化により強制的、一律的な規制をせずに、陳情の提出者である、「東京都飲食業生活衛生同業組合」、「東京都たばこ商業協同組合連合会」での自主的な取り組みに任せてほしいというもの。

一般質問

平成28年第3回定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、11月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。（町ホームページー町議会ー会議記録）

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

問 氷川愛宕山周辺の日照確保のためにも愛宕山の間伐・枝打ち等の推進を。

答 全町的に森林環境の整備、観光客の受入れ体制の整備を積極的に展開していく。



6番 石田芳英議員

石田 ①愛宕山周辺の日照確保は今までどうしてきたか。②今後の愛宕山周辺の日照確保対策は。③2020東京オリンピック・パラリンピックを控えての愛宕山に関する考えは。

町長 ①町の日照確保対策事業は、自治会からの申請がなく実施していないが、「多摩の森林再生事業」により間伐を行っている。②要件を満たし、自治会から申請があれば助成する。民有林については所有者の同意が得られれば多摩の森林再生事業により間伐を行う考えである。東京都所有の森林については、手入れをしていただくよう要望しており、今年度森林調査を実施し、その後必要な整備を行うとのことである。③愛宕山に限って何かをするということではなく、全町的にハード・ソフトの受入環境を整え、様々な事業を展開していく。



氷川を中心にそびえる愛宕山

11番 師岡伸公議員



問 町民の健康保持のために、古里小学校の温水プール化を。

答 プールの温水化による、住民の健康の保持・増進については、時間をいただき研究・検討していきたい。

師岡 季節を問わない温水プールの実現は、学校教育においても、高齢者の健康を考えるうえでも、オールシーズンの施設有効活用になるのでは。第5期長期総合計画のスパンの中で検討の余地は。

町長 第5期長期総合計画期間内における町の最大の課題は、今後10年間に見込まれる人口減少に歯止めをかけることであり、そのための最大の対策は、定住化対策と少子化対策である。行政の施策においては、事業の優先度を振り分け、喫緊の課題を迅速に対応するため、住民皆様のニーズを的確に捉え、スピード感をもって進めることが重要であると考えており、古里小学校プールの温水化については、もうしばらく時間をいただき、研究・検討したい。

《その他の質問》

師岡 小児治療のさらなる充実を。

町長 今後も総合医として小児医療にも対応できる自治医科大学卒業医の派遣を継続されるよう、東京都に働きかけるとともに、非常勤の小児専門医による診療日を設置するなど、実現の可能性も含めて検討していきたい。

8番 高橋邦男議員



問 奥多摩町少子化対策・定住化対策総合計画（緊急3か年計画）の遂行状況と効果は。

答 諸施策の効果は一朝一夕に現れるものではないが、これからも地道に、しかし着実に事業を実施していく。

高橋 奥多摩町少子化対策・定住化対策総合計画（緊急3か年計画）が実施3か年を経た現在、計画の周知状況や施策の遂行状況、そしてその効果等について、町の評価は。

町長 町の子育て支援策は全国的にも知られており、他の地方自治体及び議会の視察が増えている状況である。子ども・子育て支援推進事業については、現行の15項目をもって一定の領域に達したと考えており、今後は、成果の検証と、必要に応じて内容の見直し等を進めていきたい。定住化促進に向けた総合的な事業では、これまで進めてきた若者向けの低廉な賃貸住宅の整備を継続して実施していくとともに、分譲地の整備も、今後の需要を見きわめ継続して実施したい。今後も職員一人ひとりが、町の置かれている状況を認識すると同時に、町の進むべき方向を見据えながら、みずから考え、行動し、協力しながら、少子化対策・若者定住化対策に取り組んでいく。

《その他の質問》

高橋 奥多摩中学校の状況は。

教育長 一緒に学校生活を送る仲間が増え、人間関係の広がりが見られる。また、全生徒にICT機器を貸与するなど特色ある教育活動を行っている。

3番 澤本幹男議員



問 町民特別宿泊事業とプレミアム商品券発行事業の総括と今後は。

答 今後とも住民福祉の向上と産業振興に努めていく。

澤本 昨年度実施された町民特別宿泊事業と奥多摩町プレミアム商品券発行事業の総括と、今後の対応や対策について町の考えは。

町長 町民特別宿泊事業については、今回の利用を通じ、住民一人ひとりに観光PR役を務めていただくこともでき、有意義な事業であったと考える。プレミアム商品券発行事業もアンケートの結果から、住民、事業所双方に大きな効果があったと考える。今後、恒常的に町民割引や商品券の発行を行うことは、財政面から厳しい状況であるが、事業の必要性については再度検証する必要があると考えている。今回の結果を踏まえると、幅広い住民ニーズに応えることができるプレミアム付商品券の発行が望ましいと考えており、時期等、具体的な内容は未定だが、今後検討していきたい。

《その他の質問》

澤本 旧古里中学校跡地に開校する日本語学校への地域対応は。

町長 事業者、行政、関係機関と住民代表者からなる協議会や個別会議、説明会を通じ、地域住民の方々の意思疎通を図り、相互理解に努めていく。

9番 原島幸次議員

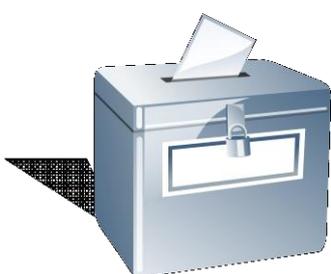


問 選挙における「投票弱者」に対する支援体制は。

答 先進事例も参考にしながら、選挙管理委員会と連携し投票機会の支援態勢の確保を図っていく。

原島 町民皆様の大切な「一票」を無駄にしないため、また、投票率向上のためにも「移動期日前投票所」等の設置を考える必要があるのでは。「投票弱者」に対する支援体制についての現状と今後は。

町長 高齢者等の「投票弱者」に対する支援態勢については、執行機関から独立して選挙を管理するために設置された機関である、「選挙管理委員会」が所掌をしているが、今の町の状況は選挙管理委員会でも承知しており、現在、統廃合を含めた投票所の配置について、高齢者等の投票機会の確保をするための方法についてなど、具体的に検討を始めていただいているとのことである。これから、ますます高齢化が進む中で、多くの住民が大切な一票を無駄にすることなく行使し、投票率の向上につながるよう、先進事例も参考にしながら、選挙管理委員会と連携し投票機会の支援態勢の確保を図っていく。



7番 宮野 亨議員



問 観光の目玉に「メガジップライン」の導入を。

答 法的な制約・物理的な問題もあり、今後の検討課題としたい。

※ジップライン・・・木々の間に張られたワイヤーロープをプーリーと呼ばれる滑車を使って滑り降りる遊具

宮野 福井県池田町では木活プロジェクトと題し、6億円をかけメガジップラインをオープンした。強い意気込みが感じられる。町でも峰谷地区を候補地としてメガジップラインを導入することで活性化につながるかと考えるが、町の所見は。

町長 当町は全域が「秩父多摩甲斐国立公園」に包含され、景勝地の多くが、開発が規制される「特別地域」であること、また、急峻な場所の多い町にあって、集客のための大型駐車場の整備が必要となるが、町には高原といわれるような、なだらかな山頂がないことなど、法的な制約、物理的な問題等がある。また、町が行う事業は貴重な税金で賄うことから、費用対効果の面も含め、様々な角度からの検討が必要となる。このようなことから、ジップラインについては、今後の研究・検討課題とさせていただきたい。

《その他の質問》

宮野 「被災者支援システム」の導入を。

町長 東京都で進める共同利用システムの導入に向けた取り組み、すでに導入をしている自治体のシステムを研究し、災害が発生した際に円滑に事務が進められるよう、システムの導入に向けて検討していきたい。

4番 清水 明議員



問 河川の観光利用と管理は。

答 観光客が楽しく遊び「また訪れたい町」となるよう、引き続きPRや施設整備など多面的に努力していく。

清水 河川の岩に金具を撃ち込む行為等に対し、町内河川の利用面でのルールや規制が求められている。把握している現状と今後の対応は。

町長 ラフティングやキャニオニングを有料で提供している業者は「多摩川川下り事業者組合」加盟の15社であり、マナーやモラルを持って運営している業者もあるが、すべての業者に行き渡っているか疑問な部分もあり、個人的にクライミングなどを行っている方もいるため、現状把握は難しい状況である。河川利用の今後については、多摩川など複数の市町村を流域とする河川もあり、実施されている場所のほとんどが自然公園内であるため、東京都で統一したルールを策定することが望ましいと考えている。今後も、東京都が策定を検討している「東京都自然公園ビジョン」の中で検討していただくよう要望していく。

《その他の質問》

清水 同一労働同一賃金に対する町の考えは。

町長 現在、地方公務員法、最低賃金法、労働基準法等の法令に則り、必要に応じて臨時職員及び委託職員を採用し、雇用している。同一労働同一賃金については今後国会で本格的な議論となることから、その状況を注視したい。

5番 小峰陽一議員



問 有害鳥獣駆除対策の現状と今後は。

答 今後も「奥多摩猟友会」と連携をしながら、効果的な有害鳥獣対策を実施していく。

小峰 ①現在町が実施している有害鳥獣駆除対策と新たな対策は。②猟友会との契約内容、猟友会会員確保の対策は。

町長 ①現在、「市町村捕獲事業」「警戒システム追払い事業」「緊急捕獲事業」の3つの事業を奥多摩猟友会に委託し実施している。新たな対策としては、サル対策のためGPSにより、各グループの行動域の変化や季節ごとの出没傾向などを把握し、対策に役立てる考えである。②猟友会とは年間122日捕獲等を実施する契約を結んでいるが、定められた以上の回数を実施したり、熊出没の際には夜間でも出動するなど、地元猟友会ならではの気配りをいただいている。猟友会会員確保のため、狩猟免許等の取得費用に対する補助制度を制定している。住民だけでなく理解を示していただいた都市部住民の方々の方もお借りしながら捕獲事業の継続を目指していく。

《その他の質問》

小峰 ラフティング事業者の河川使用における規制は。

町長 町の多様な自然を多様な形で利用することは町の観光産業の発展につながるため、マナーを守って利用いただくよう、町からも事業者組合に引き続き要請する。

1番 木村 圭議員



問 観光トイレ再整備の進捗状況と大イベント時の仮設トイレ設置は。

答 観光客の方が何度でも訪れていただけるよう、トイレ整備を始め、ハード・ソフト両面の整備を行っていく。

木村 奥多摩町全体の観光トイレの再整備の進捗状況と今後の整備計画は。また、花火大会のように観光客が集中すると予想されるイベント開催時には仮設トイレの設置が必要と考えるが町の考えは。

町長 奥多摩町観光用公衆トイレ整備・維持管理指針の計画に基づき、平成26年度は老朽化した「氷川駐車場トイレ」の建て替えを行い、今年度は付近に観光用公衆トイレが無い「大沢駐車場」への新設と、川井・鳩ノ巣・白丸の3駅前のトイレ改修を行う。来年度以降は、古里駅前や駐車場・バス停など利用頻度の高い場所を優先し、毎年度設計と工事を各10か所程度実施する考えで、東京オリンピック・パラリンピック開催までに、主要箇所の整備を完了する予定である。花火大会での仮設トイレ設置は財政上、厳しい面があるため、来年の開催時には、役場下の氷川溪谷遊歩道の公衆トイレの利用ができるよう、駅前からトイレまで仮設照明を設置するなどの対応を行う考えである。



2番 大澤由香里議員



問 空家対策の現時点での状況は。

答 自治会及び定住サポーターからの情報や「空家調査・活用システム」も用いながら、定住促進につながるよう対応していく。

大澤 現在行っている空家調査について、①誰がどのように行っているのか、②現時点での空家の数、③管理不全状態のもの数、④再生利活用されている数、また、今後の空家問題に対して講じる対策は。

町長 ①町長が任命する定住サポーター（町職員）が自治会の皆様とも協働し目視により現況調査を行った。②町内の空家は8月末現在、465件である。③現時点で正確な数は把握していないが、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に規定する「特定空家等」の取り扱いを含め、慎重に検討したい。④「いなか暮らし支援住宅」が2軒、「若者定住応援住宅」が1件、空家バンク登録後、実際に住んでいる活用物件が22軒あり、その他町への寄付物件のうち3軒程度は今年度中に活用を始める予定である。今後町最重要課題である定住促進につながるよう対応していく。

《その他の質問》

大澤 職員の健康管理は。

町長 安全衛生委員会において調査審議し、職員の職場における安全管理及び衛生管理に努めており、引き続き、職員の健康管理、職場改善に努めたい。

西多摩郡町村議会議長会議員親睦会

平成28年9月30日（金）

西多摩郡町村議会議員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的に、議員親睦会が開催されました。4町村、47名の議員が参加し、日の出陶房での陶芸体験、日の出山荘での散策等を通じて、議員相互の交流を深めました。



開会式の様子（左から、日の出町木崎副町長、奥多摩町議会須崎議長、日の出町議会東議長、瑞穂町議会高水議長、檜原村議会森田議長）



日の出陶房にて作陶体験



昭和58年11月に日米首脳会談が行われた「日の出山荘」

議会 日誌

8月

- 1日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 3日 三鷹立川間立体化複々線促進協議会、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会
- 4日 西多摩地域広域行政圏協議会 審議会
- 5日 都町村議会議長会要望活動
- 29日 三か町村連絡協議会
- 31日 議会運営委員会
- 31日～2日 会派（森のあけぼの）視察研修（静岡県）

9月

- 1日 熊本市への町職員派遣報告会
- 6日 第3回定例会（第1日）
- 7日 第3回定例会（第2日）
経済厚生常任委員会
- 9日 第3回定例会（第3日）
- 10日 中学生等海外派遣帰国報告会
- 11日 西多摩地区消防団連絡協議会 設立60周年記念事業
- 13日 決算特別委員会（第1日）
- 14日 決算特別委員会（第2日）
高齢者在宅サービスセンター

10月

- 15日 敬老会
おくてん開会式
- 16日 議会運営委員会
第3回定例会（第4日）
- 17日 グリーンウッド敬老祝賀会
- 25日 少年柔道大会
- 27日～29日 会派（緑水会・公明党）視察研修（熊本県・大分県）
- 28日 ふれあいスポーツ大会
- 30日 西多摩郡町村議会議長会議員親睦会

- 1日 氷川小学校運動会
- 5日 官公庁等連絡会
- 6日 西多摩ブロック親善ゲートボール秋季大会
- 7日 防犯のつどい
教育委員会歓迎会
- 9日 町民体育祭
都知事来町（東京五輪・パラリンピックフラッグツアー）
- 10日 子ども国際交流音楽祭・交流コンサート
- 15日 総務文教常任委員会視察
- 16日 山ふる音楽祭
- 17日 経済厚生常任委員会視察
- 18日 都道路整備事業推進大会
- 21日 議会だより編集委員会

- 24日 西秋川衛生組合議会定例会
- 秋川流域斎場組合議会定例会
- 26日～27日 都町村議会議長会先進地視察（群馬県）

- 29日 第31回ふれあいまつり
- 30日 農林産物品評会
- 31日 西多摩地区議会議員研修会、定例会



第4回定例会

12月13日頃から
予定しています。

詳細は、町ホームページ、
防災行政無線でお知らせします。

皆様の傍聴をお待ち
しています。

編集後記

今年の夏は例年にも増して猛暑でありましたが、天候にも恵まれ避暑を求めて多くの観光客が奥多摩を訪れ、キャンプ場をはじめとする景勝地は大変なにぎわいでありました。

しかし、九月に入り台風シーズンになりますと毎週のように台風が発生し、九州から北海道まで全国いたるところで大きな被害が発生し多くの命と貴重な財産が奪われましたことはまだ記憶に新しいところであり、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

自然災害は残念なことに、人類の手では防ぐことはできませんが、被害を少なくすることはできると思います。まずは隣近所での助け合いの絆を日頃から作っておくことが大切ではないでしょうか。

自助、共助、公助の大切さを痛感したところであり、皆様の御意見を議会にお寄せ下さいますようお願いいたします。

（村木 征一）
師岡 伸公 原島 幸次
澤本 幹男 宮野 亨